



てはそんなうまい話があるのか、と当初は疑問だった。

ふるさと納税の仕組みをあまり理解していなかった私に、1型糖尿病という今は治すのが難しい病の研究を続けている義弟から協力依頼が来た。研究費の支援にふるさと納税が役立つのでぜひご協力を、

しかしまさにその通りで、地方自治体は税金確保のため返礼品の知恵比べになっているようだ。ふるさと納税だからその地域の特産品などが通常の返礼品かと思うが、海のない街が人気の高い海産物を用意したりと、

とのこと。子ども納税の頃に多く発症する病気で原因は究明中。治療が可能になれば毎日のインスリン注射から



草野 義輔

と納税体験する。佐賀県に寄付先指定で納税すれば研究費として使えるとのこと。しかも返礼品がもらえて、手続きをして条件を満たせば税の控除や還付で納税額のうち実際の自己負担は2千円で済む。

確かにあれ？と思うものも少なくない。地方自治体はいずこも財源不足。少しでも税金を確保したいのは自然の成り行きで返礼品に知恵を絞るのもよく理解できる。だが

立つなら、と初めて納税をした。佐賀県に寄付先指定で納税すれば研究費として使えるとのこと。しかも返礼品がもらえて、手続きをして条件を満たせば税の控除や還付で納税額のうち実際の自己負担は2千円で済む。

他市町村の名産などを返礼にするのはふるさととの名称に違和感を覚えるし、自前の産業の振興にもならない。せつかくの制度なので過度の競争を控え継続されることを期待したい。

毎年確定申告をしている私とし

(昭和学園高校理事長・日田市)